

新潟市教職員の資質向上に関する指標〔栄養教諭〕 ※学校栄養職員・栄養士も準ずる

新潟市教育委員会(令和6年4月)

|                | 項目                                | 新潟市が求める着任時の姿       | 第1ステージ  |   | 第2ステージ  |   | 第3ステージ  |  |
|----------------|-----------------------------------|--------------------|---|---|---|---|---|--|
|                |                                   |                    | 1 習得期   |   | 2 習熟期   |   | 3 充実・還元期  |  |
|                |                                   |                    | 給食管理や食に関する指導を中心に、児童生徒と誠実に向き合いながら栄養教諭としての素養を習得する |   | 栄養教諭としての専門性を高め、ミドルリーダーとして推進力を発揮する   |   | 栄養教諭として豊富な経験を生かし広い視野で組織的な運営を行うとともに、他の栄養教諭の専門性を向上できるよう支援する |  |
| A<br>実践力       | 力た食・め育の資質を推進に当たり児童・生徒の課題を解決できる    | ア 食に関する指導          | 1Aア   | ・食に関する指導計画を作成し実施する。<br>・学校給食の献立や使用されている食品を活用し、効果的な指導を工夫する。<br>・他の教職員から学ぶなど自分の指導を改善しようとする向上心を持つ。                         | 2Aア   | ・食に関する指導計画の立案に中心的な役割を果たし、食育を推進する。<br>・給食時の指導計画を示し、献立や使用されている食品を活用し、効果的な指導を行う。<br>・専門的な知識を活用し、教科等の指導内容に沿った指導を展開するなど、自らの授業力の向上に努める。 | 3Aア   | ・食に関する指導内容の評価・分析を行い、より効果的な指導に向けて、全体計画等の作成、推進・改善に参画する。<br>・食に関する指導の指導内容・評価について、専門性を生かした改善のポイントを他の教職員に指導・助言する。 |
|                |                                   | イ 個に応じた対応・指導       | 1Aイ   | ・児童生徒の実態把握と個別の栄養相談の重要性を理解する。  | 2Aイ   | ・専門職として身に付けた技術を生かし、児童生徒の課題を把握し、職員や保護者と連携し対応・支援を行う。  | 3Aイ   | ・児童生徒の課題を総合的に把握し、校内で情報を共有し教職員や保護者と連携し適切な対応・指導・助言を行う。   |
|                |                                   | ウ 栄養管理             | 1Aウ   | ・栄養管理の重要性について理解する。  | 2Aウ   | ・児童生徒の実態や学校・地域の特色に応じた栄養管理を行うとともに、その評価・改善に努める。<br>・施設に合わせた調理指導を行う。   | 3Aウ   | ・献立作成や調理指導の方法に関し、自校や地区において指導的な立場を果たす。  |
|                |                                   | エ 衛生管理             | 1Aエ   | ・衛生管理の重要性について理解する。  | 2Aエ   | ・施設の課題を的確に捉え、衛生管理の充実のための指導・助言を行う。   | 3Aエ   | ・衛生管理に関して、自校や地区において指導的な立場を果たす。   |
|                |                                   | オ ICTや情報・教育データの利活用 | Aオ  | ・ICT機器の基本的な操作方法、情報モラルについて理解する。  | ・ICT機器を活用することで、給食関係の業務を円滑に行ったり、児童・生徒、職員との連絡等を効果的に行ったりする。<br>・食育において、「情報活用能力」を育成・活用しながら、必要となる「資質・能力」を育成する。 |   |   |  |
| B<br>組織マネジメント力 | 能力児童・生徒理解、学校集団状況の把握する能力・資質の活用のできる | ア 支持的風土づくり〈児童生徒理解〉 | 1Bア   | ・児童生徒相互のかかわりについて、実態把握の方法を知る。  | 2Bア   | ・教職員と連携し、児童生徒の自立に向けた活動を支援する。  | 3Bア   | ・よりよい食習慣の形成を目指した活動方法について、自校や地区において指導・助言する。   |
|                |                                   | イ 特別支援教育           | 1Bイ   | ・共生社会の実現を目指したインクルーシブ教育システムを理解する。  | 2Bイ   | ・児童生徒の実態に応じた個別指導を有効に取り入れて支援する。<br>・学習・生活場面において「個別の教育支援計画」を活用し、合理的配慮を提供する。   | 3Bイ   | ・蓄積した合理的配慮を校内で共有し、校内支援体制の構築に参画する。  |
|                |                                   | ウ いじめ・不登校          | 1Bウ   | ・「生徒指導提要」「新潟市生徒指導リーフレット」等に基づいて、生徒指導に関する考え方を理解する。  | 2Bウ   | ・いじめ・不登校の課題を抱える児童生徒及びその保護者に対して、栄養相談等を通じて、適切な支援を行う。  | 3Bウ   | ・いじめ・不登校校内対策委員会に参加し、具体的な対応策を講じ、課題解決する。   |
|                |                                   | エ 危機対応             | 1Bエ   | ・学校にかかわる様々な危機への対応策を理解する。  | 2Bエ   | ・食物アレルギーや食中毒等の情報を確実に把握し、危機回避に向けて対応する。<br>・相手の訴えや要望を傾聴するとともに、管理職に報告し情報を共有する。   | 3Bエ   | ・自校や地区において、安全安心な学校づくりに向けて指導・助言する。<br>・組織として課題に対する解決策を考えるとともに、具体的な取組を示し、迅速に課題解決する。                            |
|                |                                   | オ 人材・資源の活用         | 1Bオ   | ・同僚や民間関係諸機関との連携の重要性を理解する。   | 2Bオ   | ・同僚や民間関係諸機関と連携・協働して、課題に対応する。  | 3Bオ   | ・民間関係諸機関との連携をコーディネートし、適切に課題を解決する。  |
| カ 学校教育ビジョン     | 1Bカ                               | ・新潟市教育ビジョンを理解する。   | 2Bカ   | ・自校の教育ビジョンと新潟市教育ビジョンの関連を理解する。<br>・自校の実態と教育ビジョンを関連付け、適切な目標のもとで担当分掌の業務を着実に遂行する。   | 3Bカ   | ・数値やアンケート等、適切な方法で到達状況を評価する。<br>・評価結果を生かして担当分掌の成果と課題を確認し、業務を改善する。  |   |  |
| C<br>人間力       | 力を教員としての適切な言動・人間関係を遂行する能力         | ア 使命感・熱意           | Cア  | ・絶えず研究と修養に励み、学んだことを実践に生かす。<br>・職務や役割を十分自覚し、責任を回避せずに最後までやり遂げる。   |   |   |   |  |
|                |                                   | イ コンプライアンス         | Cイ  | ・法令や「新潟市における法令遵守の推進等に関する条例」を理解する。<br>・法令や「新潟市における法令遵守の推進等に関する条例」を遵守する。<br>・教育公務員としての誇りをもって自己を成長させ、高い倫理観と責任感をともなった行動をとる。 |   |   |   |  |
|                |                                   | ウ 社会認識・識見・礼儀       | Cウ  | ・社会的な常識や社会人としての望ましい習慣を理解する。<br>・社会的な常識を踏まえ、社会人としての望ましい習慣を身に付け、TPOに応じた行動をする。<br>・社会状況及び教育的動向を把握し、自ら課題を見いだす。              |   |   |   |  |
|                |                                   | エ コミュニケーション        | Cエ  | ・児童生徒、同僚職員、保護者、地域の人等の声を敏感に感じ取り、他者の立場で考え共感できる感受性を持ち、協同的な人間関係をつくる。  |   |   |   |  |
|                |                                   | オ セルフマネジメント        | Cオ  | ・自己の特性を理解し、その時々でモチベーションを維持して活動に取り組む。<br>・節度ある生活を心掛け、心身の健康を維持する。   |   |   |   |  |
|                |                                   | カ 対応力・創造力          | Cカ  | ・様々な課題に対して臨機応変に対応する。<br>・これまでの概念にとらわれず、幅広い視点で発想できる創造的思考を持ち、新しい発想で改善や提案を行う。  |   |   |   |  |